

I 講義 58時間

番号	科目名	目的	内容	講師
① 社会福祉の基本的な理念及び福祉サービスを提供する際の基本的な考え方に関する講義				
1	福祉理念とケアサービスの意義	3時間	<ul style="list-style-type: none"> <li>●社会福祉の基本的な理念について理解する。</li> <li>●ケアサービスの意義について把握し、チームケアの必要性を理解する。</li> </ul>	◎介護福祉士
2	サービス提供の基本視点	3時間	<ul style="list-style-type: none"> <li>●QOLの向上、ノーマライゼーション等の各福祉分野に共通する主流観念</li> <li>●ケアサービスの意義</li> <li>●チームケアの必要性</li> <li>〔継続的ケアと総合的ケア、地域福祉の観点〕</li> <li>〔事例にみる連携と役割分担〕</li> <li>●豊かな人間観</li> <li>〔生活者としての援助対象の把握、生涯発達の見点、自己実現の見点 等〕</li> <li>●他者理解と共感</li> <li>●自立支援</li> <li>〔経済・身体的自立と精神的自立、役割意識とプライド、能動性・主体性〕</li> <li>●利用者の自己決定</li> </ul>	
② 高齢者保健福祉・障害者福祉に係る制度及びサービス並びに社会保険制度に関する講義				
3	高齢者福祉の制度とサービス	3時間	<ul style="list-style-type: none"> <li>●介護保険制度を中心とした高齢者保健福祉の制度とサービスについて理解する。</li> <li>〔介護保険制度に関する内容を中心とした講義内容とする。〕</li> <li>●高齢者保健福祉の背景と動向</li> <li>●介護保険制度の概要とサービスの理解</li> <li>●その他高齢者保健福祉の制度とサービスの理解</li> <li>●医療、年金、生活保護制度、住宅施設等、その他高齢者福祉に関連する制度、施策</li> </ul>	◎高齢者福祉施設の長
4	障害者(児)福祉の制度とサービス	3時間	<ul style="list-style-type: none"> <li>●障害者(児)福祉の背景と動向</li> <li>●身体障害者福祉の制度</li> <li>●知的障害者福祉の制度</li> <li>●児童福祉の制度</li> <li>●各福祉サービスの種類、内容とその役割</li> <li>●障害者(児)福祉に関する制度、施策</li> </ul>	◎障害者福祉施設の長
③ 訪問介護に関する講義				
5	訪問介護サービス概論	3時間	<ul style="list-style-type: none"> <li>●訪問介護サービスの役割と業務を理解する。</li> <li>〔介護保険制度における運営基準等についての内容や考え方について含める。〕</li> <li>●訪問介護サービスの社会的役割</li> <li>●訪問介護サービスの制度と業務内容(介護保険制度における運営基準等の理解)</li> <li>●チームケアの理解</li> <li>●24時間対応巡回型訪問介護サービスの理解</li> <li>●地域包括支援センター等関係機関との連携(介護保険制度における居宅介護支援との連携)</li> <li>●関係職種の基本知識</li> </ul>	◎看護師
6	訪問介護員の職業倫理	2時間	<ul style="list-style-type: none"> <li>●訪問介護サービスに従事する際の職業倫理について理解する。</li> <li>●サービス提供における利用者の人権の尊重について理解する。</li> <li>〔実際のサービス提供における人権の尊重について重点的項目として取り上げる。〕</li> <li>●訪問介護サービス業務においてとるべき基本的態度</li> <li>●福祉業務従事者としての倫理</li> <li>●サービス提供における利用者の人権の尊重、プライバシーの保護等(事例を用いて理解を深める事が望ましい)</li> <li>●成年後見制度と権利擁護制度</li> </ul>	
④ 高齢者・障害者の疾病、障害に関する講義				
7	障害・疾病の理解	8時間	<ul style="list-style-type: none"> <li>●業務において直面する頻度の高い障害・疾病を医学的に理解する。</li> <li>●実践的視点で利用者の状態像を把握する。</li> <li>●援助の基本的な方向性を把握する。</li> <li>〔介護保険法の対象となる特定疾病の概要を加える。〕</li> <li>●加齢による老化</li> <li>●認知症</li> <li>●脳卒中後遺症(肢体不自由、失言症等)</li> <li>●精神障害(統合失調症を中心として)</li> <li>●脳性麻痺、脊髄損傷等による肢体不自由</li> <li>●知的障害、自閉症、てんかん、ダウン症</li> <li>●心臓脳障害等の内部障害</li> <li>●高血圧、糖尿病</li> <li>●介護保険法における特定疾病の概要 等</li> </ul>	◎看護師 ◎福祉・看護系大学の教員
8	高齢者、障害者(児)の心理	3時間	<ul style="list-style-type: none"> <li>●高齢者、障害者(児)に対する理解を深め、心理的援助のあり方について把握する。</li> <li>●高齢者、障害者(児)の生活、行動と心理</li> <li>●高齢者、障害者(児)の人間関係</li> <li>●高齢者、障害者(児)とのコミュニケーション</li> <li>●生き生きとした生活に向けての心理的援助の実際</li> </ul>	◎看護師
9	高齢者、障害者(児)の家族の理解	3時間	<ul style="list-style-type: none"> <li>●高齢者、障害者(児)等の家族に対する理解を深め、援助の目的と機能を理解する。</li> <li>●家族、世帯等の定義と内部構造</li> <li>●高齢者、障害者(児)の家族のストレス</li> <li>●家族に対するアセスメントの方法</li> <li>●家族とのコミュニケーションと援助</li> <li>●父子、母子家庭の理解</li> </ul>	

番号		科目名	時間数	目的	内容	講師
⑤ 介護技術に関する講義						
10	介護概論	3時間	<ul style="list-style-type: none"> <li>●介護の目的と機能を理解し、介護の基本原則を把握する。</li> <li>●在宅介護の特徴とすすめ方を把握する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●介護の目的、機能と基本原則</li> <li>●介護ニーズと基本的対応</li> <li>●在宅介護の特徴とすすめ方</li> <li>●介護におけるリハビリテーションの視点</li> <li>●QOLの向上、ノーマライゼーション等の各福祉分野に共通する主流観念</li> <li>●ケアサービスの意義</li> <li>●チームケアの必要性</li> <li>継続的ケアと総合的ケア、地域福祉の観点事例にみる連携と役割分担</li> <li>●ターミナルケアの考え方</li> <li>●介護者の健康管理</li> </ul>	◎看護師	
11	介護事例検討	4時間	<ul style="list-style-type: none"> <li>●生活者としての援助対象者の介護事例を通して、適切な介護方法を学習する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●高齢者介護の特徴と留意点 (一人暮らしの高齢者、寝たきりの高齢者、認知症の高齢者、骨折等への注意、高齢者と性等)</li> <li>●障害者介護の特徴と留意点 (進行性障害への配慮、障害者夫婦への援助、精神障害への対応、視覚・聴覚障害への対応)</li> <li>●障害児介護の特徴と留意点 (思春期の特徴と対応、家族への対応、自傷・他害への対応等)</li> </ul>	◎看護師	
12	住宅・福祉用具に関する知識	4時間	<ul style="list-style-type: none"> <li>●高齢者、障害者(児)にとっての快適な住宅について理解を深め、住宅の改造に関する知識を学習する。</li> <li>●福祉用具についての理解を深め、主な福祉用具の種類と機能を把握する。</li> </ul> <p>(介護保険制度における福祉用具貸与購入、住宅改修の概要について加える。)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●生活行動と生活空間</li> <li>●住宅介護における住宅の役割と機能</li> <li>●快適な室内環境</li> <li>●防災等の安全管理</li> <li>●住宅改造のポイントと事例</li> <li>●福祉用具の役割と利用に関する知識</li> <li>●主な福祉用具の種類と機能・使用方法に関する知識</li> <li>●介護保険制度上の福祉用具貸与・購入費、住宅改修費の概要</li> </ul>	◎作業療法士	
⑥ 家庭援助の方法						
13	家事援助の方法	4時間	<ul style="list-style-type: none"> <li>●高齢者、障害者(児)への家事援助の目的と機能を理解し、その方法を学習する。</li> <li>●高齢者、障害者(児)への家事援助に必要な栄養、調理、被服の知識を学習する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●家事援助の目的、機能と基本原則</li> <li>●家事援助の方法</li> <li>●家事援助における自立支援</li> <li>●高齢者、障害者(児)と栄養、食生活のあり方</li> <li>●食品の保存・管理</li> <li>●ゴミの始末、調理器具、食器等の衛生管理</li> <li>●高齢者、障害者(児)への調理技術(味付け、きざみ食等)</li> <li>●糖尿病、高血圧症等に対応する特別食</li> <li>●高齢者、障害者(児)と被服</li> </ul>	◎福祉・看護系大学の教員	
⑦ 相談援助方法						
14	相談援助とケア計画の方法	4時間	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ケアマネジメントの視点と方法を理解した上で、訪問介護員として行う相談援助の方法及びケア計画の作成方法を学習する。</li> </ul> <p>(介護保険制度における居宅介護支援についての内容を含める。)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ケアマネジメントの視点と方法</li> <li>●介護保険制度における居宅介護支援の理解</li> <li>●相談援助の目的、機能と基本原則</li> <li>●情報収集とニーズの発見</li> <li>●業務におけるケア計画の方法(目標の設定、計画の作成)</li> <li>●援助内容の見直しの視点と手続き</li> </ul>	◎介護支援専門員 ◎社会福祉士	
⑧ 医学等関連領域の基礎知識						
15	医学の基礎知識 I	3時間	<ul style="list-style-type: none"> <li>●高齢者、障害者(児)の在宅生活援助に役立つ知識を中心に家庭の医学等の基礎知識を学習する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●日常的な疾患の基礎知識と予防・対処方法(風邪、発熱、腹痛、火傷、骨折、食中毒等) ※バイタルサインの測定方法を含む。</li> <li>●感染症の理解と予防(MRSA、B型肝炎、疥癬、梅毒等)</li> <li>●医療関係制度の基礎知識</li> </ul>	◎医師	
16	在宅看護の基礎知識 I	3時間	<ul style="list-style-type: none"> <li>●高齢者、障害者(児)の在宅看護の基礎知識を学習する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●在宅看護方法の理解</li> <li>●身体を観察(観察の視点、体温測定、血圧測定等)</li> <li>●薬の飲ませ方と保管</li> <li>●特別な処置(吸引、吸入、浣腸、排便等)</li> </ul>	◎看護師	
17	リハビリテーション医療の基礎知識	2時間	<ul style="list-style-type: none"> <li>●理学療法と作業療法を中心にリハビリテーションの基礎知識を学習する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●リハビリテーション医療の意義と役割</li> <li>●リハビリテーション医療の概要(理学療法、作業療法等)</li> <li>●訪問リハビリテーションスタッフとの連携の進め方</li> <li>●リハビリテーション介護とは</li> </ul>	◎作業療法士	

<p style="text-align: center;">ロールプレイング等については、見学のみで終了することがないように実施。</p>					
II 演習		42時間	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サービス提供の基本視点 - サービス提供の基本的態度</li> <li>・介護概論 - 介護技術</li> <li>・相談援助とケア計画の方法 - 相談援助とケア計画の方法</li> </ul>		
番号	科目名	時間数	目的		講師
① 福祉サービスを提供する際の基本的な態度に関する演習					
18	サービス提供時の基本的態度	4時間	<ul style="list-style-type: none"> <li>●サービス利用者の立場に立った理解とサービス提供者としての基本的態度を形成する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●QOLの向上、フォーマライゼーション等の各福祉分野に共通する主流観念</li> <li>●ケアサービスの意義</li> <li>●チームケアの必要性</li> </ul> <p>継続的ケアと総合的ケア、地域福祉の観点事例にみる連携と役割分担</p>	
② 介護技術に関する演習					
19	介護技術	30時間	<ul style="list-style-type: none"> <li>●食事、排せつ、入浴、移動、移乗、その他基本的な介護技術を修得する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●食事の介護</li> <li>●排せつ・尿失禁の介護</li> <li>●衣服着脱の介護</li> <li>●入浴の介護</li> <li>●体位・姿勢変換の介護 (座位保持、褥そうへの対応を含む)</li> <li>●肢体不自由者の歩行の介護</li> <li>●車いすへの移乗等の介護</li> <li>●車いす等での移動の介護</li> <li>●視覚障害者の歩行の介護</li> <li>●ベッドメイキングの方法</li> <li>●身体の清潔保持の方法 (清拭、洗髪、口腔ケア等)</li> <li>●緊急時対応法 骨折、火傷、てんかん発作、化学物質による中毒等</li> </ul> <p>※姿勢による食物の喉の通り方を体験するため弁当等を用いて実際に食事介護をする等可能な限り実践的な演習を行うこと。</p>	◎看護師
20	ケア計画の作成技術	5時間	<ul style="list-style-type: none"> <li>●訪問介護員としてのケア計画の作成技術を学習する。</li> <li>●業務及び事例の記録の方法と報告の仕方等を学習する。</li> </ul>	<p>ロールプレイ、VTR等により情報提供された想定事例に対して以下の項目を学習</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●業務のための情報収集とアセスメント</li> <li>●サービス提供プランの想定</li> <li>●訪問介護員としての援助目標の設定とケア計画の作成</li> <li>●記録の書き方</li> <li>●上司への報告・相談の仕方 (カンファレンスでの報告の仕方を含む。)</li> <li>●事例報告のまとめ方</li> </ul> <p>※記録の書き方については、いくつかの適切と思われる記録様式(用紙)を紹介すること。 ※事例報告のまとめ方については、いくつかの既存の事例報告を紹介し、討論形式で学習すること。</p>	◎介護支援専門員 ◎1級課程修了者 ◎看護師 ◎福祉・看護系大学の教員
④ レクリエーション技術					
21	レクリエーション技術	3時間	<ul style="list-style-type: none"> <li>●高齢者、障害者(児)を対象とするレクリエーションについて理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●レクリエーションの視点とプログラム</li> <li>●高齢者、障害者(児)を対象とするレクリエーションの体験学習</li> </ul>	◎在宅レクリエーションの専門家 ◎在宅レクリエーションの専門家

Ⅲ 実習		30時間	<ul style="list-style-type: none"> <li>●QOLの向上、ノーマライゼーション等の各福祉分野に共通する主流観念</li> <li>●ケアサービスの意義</li> <li>●チームケアの必要性</li> </ul> 継続的ケアと総合的ケア、地域福祉の観点			
番号	科目名	時間数	目的	内容	実施施設	実習指導者
① 介護実習						
22	施設実習	16時間 (8時間×2日)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●講義、演習で学んだ内容を施設において実践することにより介護技術を中心とする援助能力を高める</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●特別養護老人ホーム、介護老人保健施設、小規模多機能施設、認知症対応型協同生活介護介護事業所(グループホーム)等を通じて実際の介護の現場にて介護実習</li> </ul>	介護老人保健施設 認知症対応型グループホーム 小規模多機能施設	◎介護福祉士
23	訪問介護実習	8時間 (4時間×2日)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●訪問介護同行訪問により、業務を体験的に理解するとともに援助能力を高める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●訪問介護サービス同行訪問による業務実習</li> </ul>	指定訪問介護事業所	◎介護福祉士 ◎看護師
② 見学実習						
24	在宅サービス提供現場見学	6時間	<ul style="list-style-type: none"> <li>●在宅サービス提供現場の見学を通して、そのサービス及び機関の役割・機能を理解する。</li> <li>●訪問介護サービスとの連携のあり方等、在宅生活者への総合的支援のあり方について学習する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●デイサービスセンター、地域包括支援センター訪問介護ステーション等の在宅サービス提供現場の見学</li> </ul>	デイサービスセンター 地域包括支援センター 訪問介護ステーション等	◎当該実習施設における実務経験が1年以上の職員